

シカによる庭の食害対策について

臆病で警戒心が強いシカですが、危険がないとわかると大胆に庭に侵入します。作物を囲い、「エサがある」「住みやすい環境」と認識されないことが重要です！

環境生活課

●庭木・生垣の場合



支柱を立てネット（又はブルーシート）で巻き、4箇所程度をシュロ縄で縛る。物理的にシカに食べられないようにする。（冬囲いのイメージ）
背が高い木の場合は、下から1.5～2m程度（シカの手が届かない場所まで）を囲うと良い。木の皮剥ぎ対策としては、スズランテープを幹に巻き付けるのも効果的です。
▼防獣ネット 2,000円～
▼支柱 300円～

●背の高い植物



支柱を立て、ネットやシート（ゴミ袋や肥料袋でも可）で覆う。可能であれば上にネットなどを被せると良い。隙間があり、「食べ物がある」と認識してしまうと下から入り込む可能性があるため、積雪や風で倒れていないか定期的に確認する。アライグマとは違いなぎ倒したり、掘られることもあまりない。

風よけ、虫よけ、寒さ対策にもなります

●背の低い植物



チューリップの球根はシカに狙われやすいため、近くに匂いの強いハーブや、刺激臭のあるトウガラシ、シソ等の作物を植えることも食害対策になります。



一つひとつペットボトルを被せる。もしくは、シートで覆いペグを打って固定。エサがある場所と認識されないことが重要。



シカ豆知識

- ◇視覚・聴覚→人間と大差ないが三原色は見えないためモノクロ
- ◇味覚→植物は、ほぼなんでも食べる
- ◇嗅覚→発達しており、において危険を察知

※2mの高さを飛べるので、庭一帯をネットで囲うのはなかなか難しい
※警戒心は強いが、慣れると大胆になるので忌避剤等の効果も限定的
※蹄はあまり丈夫でなく、踵を傷付けるような足場の悪い場所を嫌う
※栄養状態が良ければ生後1年目から毎年春（5～7月）に1頭産む